

# (仮称) 太良上池・下池公園 保全活用計画策定等検討委員会

## 第2回 ニュースレター

開催日：2019年1月22日 19:00～

出席者：計30名(参加者15名、事務局12名、傍聴人3名)

第1回目の開催からおよそ半年ぶりに、(仮称) 太良上池・下池公園 保全活用計画策定等検討委員会（第2回）が開催されました。前回の会議で出された整備の方向性や課題を踏まえ、具体的なマメナシ自生地の保全方針や方策、整備計画を提示しました。それについて気になる点や意見を出し合いました。また、各委員より今までの活動報告もありました。

### ◆ 今回の内容 ◆

#### 1 開会

小牧市 都市建設部みどり公園課 水野課長から開会の挨拶がありました。



小牧市都市建設部  
水野課長



第2回検討委員会の様子

#### 2 前回の振り返り

前回の検討委員会で確認できたことや、今後の方向性、マメナシ自生地や周辺の生態的扱い、今後の検討課題などの説明がありました。

#### 3 報告事項

前回以降の活動について各委員から報告がありました。

##### (1) マメナシサミットin守山

##### (2) マメナシ保全のためのガイドライン

平成30年11月3日金城学院大学で、マメナシの保全活動を行う市町村・自然保護団体が一堂に会し、事例発表・講義・意見交換が行われ、マメナシ自生地の保全を図るための「マメナシ保全のためのガイドライン」が策定されました。今後、各地・各団体でこのガイドラインに基づき保全活動に取り組んでいくことを確認しました。



「マメナシ保全のためのガイドライン」は、マメナシサミットの  
中でマメナシの全生育地の理解を得たものとなりました。

名古屋工業大学 増田委員

##### (3) マメナシ専門部会

平成30年11月22日小牧市役所で、マメナシ専門部会が開催されました。

##### (4) 清掃作業報告

鳥居委員による指定地周辺の自主的な清掃活動の報告がありました。



きれいになると見た目も快適で、ゴミも捨てられないと思います。

樹木医 鳥居委員

＜マメナシ（イヌナシ）の保護ガイドライン要約（案）＞

1. マメナシ（イヌナシ）の保護のためには、生育環境を整えることが重要。
2. マメナシだけではなく、他の生物にも配慮する。
3. 古木は無理に保護しない。
4. 全ての実生が生き残る必要はない。
5. 移植はしない。
6. 種まきをしない。
7. 今ある移植個体は切る？切らない？

→地域での検討課題！

徹底的に話し合うことが必要



マメナシ専門部会の様子



作業前



作業後

#### 4 議題（詳細は次ページ）

##### (1) マメナシ自生地の保全のあり方について

- ①自生地の保全方針
- ②計画地全体の保全方針

##### (2) その他

- ①公園名称について
- ②自由意見交換



意見交換の様子



(1) ①自生地の  
保全方針



(1) ②計画地全体の  
保全方針

#### 5 あいさつ

今回マメナシについての大きな方向性は出ました。  
次回は、今回提示した計画をベースに、皆様のご意見や改善案  
を出して頂き、具体的な計画を中心に議論を進めたいと思います。



名古屋造形大学 岡田委員長

#### 6 閉会

今回マメナシ自生地の管理については  
決定して、次回からは全体に向けて議論  
を深めていくこととなります。



大草東区長 稲垣委員

①自生地の保全方針について〈保全方針についての委員会からの意見〉

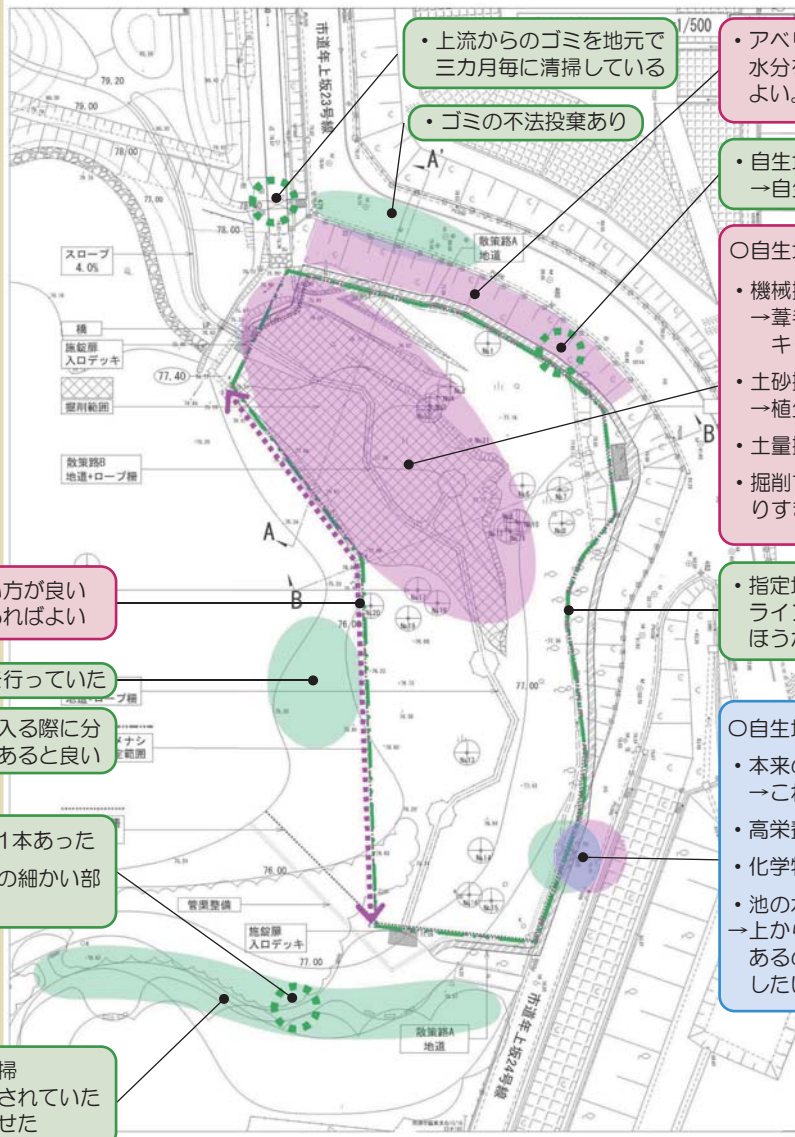
整備について

維持管理について

整備及び維持管理について

■自生地の保全方針(抜粋)

- ・自生地全体を入れないように囲う
- ・柵やサインは簡易なもので
- ・中を通る道は、杭とロープ柵程度の簡易なものとし道の途中に観察、作業用の小さな広場を設ける
- ・動線はバリアフリーに
- ・法の高い位置に観察台を設置する
- ・散策路は、砂防指定地に入っているため造成は行わず、法尻に沿って設置する
- ・自生ではないと予想されるマメナシは、市民四季の森に移植を検討



・上流からのゴミを地元で三カ月毎に清掃している

・ゴミの不法投棄あり

・アペリアなどの園芸種は繁殖力が高く、水分を吸っているため、刈り取った方がよい。

・自生地散策路に野草を植えてもいいか  
→自生地には不可

○自生地内盛土撤去について

- ・機械搬出は、今ある自然に影響はないか  
→葦毛湿原で実績あり  
キャタピラの外来種対策は必要あり
- ・土砂搬出はOK  
→植生が復活
- ・土量搬出の手法を検討する
- ・掘削するときは、地層を確認しながら取りすぎないように慎重に行う

・池側の柵はない方がよい  
→管理上杭があればよい

・昔はゴミ拾いを行っていた

・地元の人が手入れで立ち入る際に分かるもの(ベスト等)があると良い

・この場所に昔マメナシが1本あった

・マメナシの実生についての細かい部分は今後考えていく

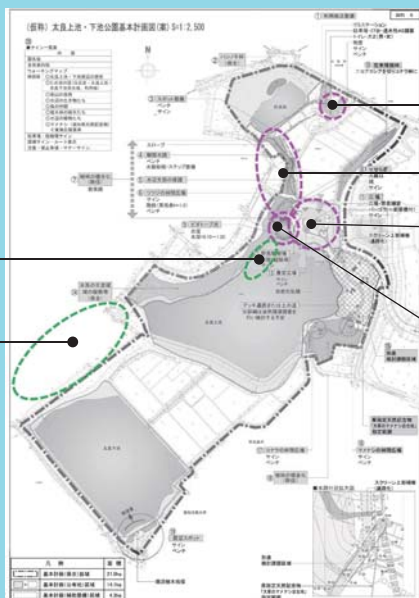
・鳥居委員が自主活動で清掃  
→ササが茂りゴミが放置されていたが、かつての道を蘇らせた

・指定地範囲内のヨシは、マメナシガイドラインに則って、なるべく手を加えないほうが良いのでは

○自生地供給水について

- ・本来の水質  
→これが使えれば良い
- ・高栄養は問題ではないのでは
- ・化学物質があれば問題
- ・池の水を使えないか  
→上からの流れてくる水は土を動かす力があるので、出来れば上流からの水に期待したい

②計画地全体の保全方針について〈今後の検討課題〉



〈整備に関する課題〉

トイレの規模  
道具入れの大きさ

散策路の設置について

広場造成部の処理(ノシバ)  
歩道の舗装  
駐車場の台数

ピオトープの設置について

〈自然に関する課題〉

ヨシ原管理の問題

竹林の問題

◆次回の検討委員会◆

次回は全体についての整備計画、および公園名称についても議論を深めていきます。